



ほけんだより



3月

あすなろ第2保育園

2月は、発熱や咳などの風邪症状での欠席がみられ、インフルエンザ（B）の診断を受けられたお子さまが多数おられました。

少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになりましたね。今年度も新型コロナウイルス、インフルエンザなど心配が多い1年となりました。保護者の皆さまには、保健活動においてのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。残りの日々も病気やけがに気を付け、楽しく過ごしましょう。

「3月3日」耳の日 知っておきたい耳の異常のサイン

3月3日は3(み)3(み)にちなんで「耳の日」。子どもは風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことがしばしばあります。早く対応できるよう、耳の病気や聞こえの異常サインを知っておきましょう。

耳の病気

子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがあります。中耳の中で炎症が起こってうみがたまり熱を出すことや、鼓膜を圧迫するため強い痛みが起きます。また、鼓膜が破れてうみ(耳たれ)が出ることもあります。

聞こえの異常

聞こえの異常は、言葉の育ちにも影響します。子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確に言えないことがあります。聞こえにくいサインを知って、早めに気づくことが大事です。

<受診の目安>



発熱など、風邪の症状に加えて

- ・しきりに耳を触る、頭を振る
- ・耳に触られるといやがる
- ・機嫌が悪くなる

風邪の後に多い傾向があり、症状が長引く場合や急に現れた場合は耳鼻咽喉科へ受診しましょう。

<聞こえにくいサイン>



- ・テレビの音が大きい
- ・後から呼んでも気づかない

生まれつき聴力が弱い場合と、病気が原因の場合があります。

新年度、こんなサインに 注意

新入園のお子さんはもちろん、新しいクラスに進級するお子さんも、新しい環境になります。新年度の変わり目は、体や心の疲れがたまりやすい時期です。

心の不調が体に出ることもあります。しっかり受け止めてもらったという安心感が、心を安定させます。



こんなときは……

- きげんがよくない
- 朝、ぐずって「行きたくない」と言う
- 体調が悪い



お子さんを受け止めて

- たくさんスキンシップをとる
- がんばったことをたくさん褒める
- よく話を聞く